ひびき動物病院 かわらばん

2024年7月　第87号

料金別納

ゆうメール

こんにちは。岡田響です。

6月は当院の開院月でした。おかげさまで18年目となりました。いつもありがとうございます。少しずつではありますけれども、私たちも変化しながらここまで来れているのかな？とも思いながら、小さな病院ですが、私たちの役目を果たせるように、これからも少しずつ前に進んでいこうと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

突然ですが、**「非認知能力」**ということばは聞いたことがありますか？検索してみると、目標を決めて取り組む、意欲を見せる、やり抜く力、自分を信じる力、自己肯定感、学習志向性、やる気、集中力、ねばり強く頑張る力、理性、精神力、客観的思考力、判断力、行動力、リーダーシップ、協調性、思いやり、応用力、楽観性、失敗から学ぶ力、創造力、工夫をする力などとあり、簡単に表現すると、自分で問題・課題を見つけ、それに向かい、やり抜き、解決していく、そういう力のことです。それに対してIQや学力検査で測れる能力が「認知能力」だそうです。

今の子供たちは、この**「非認知能力」**が下がってきている、という記事があります。インターネットやAIなど様々なデジタル化で、考えること、想像すること、話し合いや相談するようなことが極端にできなくなっているそうです。コロナ禍で人との関わりが激減したのも原因の一つのようです。きっと、大人もそうなのではないのか？ともあります。

仕事や生活にも、AIなどが少しずつ生活に浸透してきていますよね。機械に頼りすぎたらダメだ、と思っていますが、電話に出られないときなどは、AIに頼ってもいいのか？などと考えてしまいます。。一方で、

ペットは**「非認知能力」**を鍛えるのにとても役立つそうです。それも理解できます。おなか減ってる？とか、どうしてここでおトイレしちゃうの？とか、今日は元気？とか、飼い主さんはずーっと想像を繰り返していますよね？？それで、病院に連れて行こう、と行動しているわけですから。動物を飼うにはこういう力も必要ってことかもしれません。飼い主さんの目はAIでは置き換えられないでしょう。そういうのを大事にしながら前に進んで行こうと思います。18年目もよろしくおねがいします。

＊いつもと違うな？と感じたら、翌日にはご連絡ください。

ひびき動物病院　TEL045-832-0390
〒235-0045　横浜市磯子区洋光台6-2-17-102
午前9～12時　午後4～7時　受付30分前まで　予約制　ブログ

7月

木曜 定休

2024

日	月	火	水	木	金	土
30	1 午前診療	2	3	4	5	6
7 院長不在	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3

日曜・祝日は午前診療
トリミング　日　月　火　金　土

8 August

2024

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
28	29	30	31	1	2	3
4 院長不在	5 午前診療	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21 午前診療	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

岡本太郎美術館にいってきました。暑い日でしたが、館内は快適でした。
彼の名言とその背景を考えると色々面白かったです。

生田緑地は大きな公園にもなっていて、お散歩のわんちゃんが結構いました。

先日、オープンしてからずっと行きたいと思っていた「イマーシブ・フォート東京」にやっと行くことができました☆
お台場のヴィーナスフォート跡地に新しくできたテーマパークで、目の前で事件が起こったり、時にはテロリストに協力を頼まれたり…!?非日常をたくさん体験できてとっても楽しかったです♡心臓の強い方はぜひ、行ってみてください☆

片倉

美味しいベトナムフォーのお店を見つけました！ベトナム女性2人で切り盛りしている小さなお店ですが，明るいのに落着いた居心地の良い感じです。牛肉のフォーは3種。それぞれM，Lとサイズが選べます。私はMサイズにトッピングで揚げパンを注文しました。揚げパンがスープを良く吸って，とっても美味しかったです。久しぶりにまたすぐ行きたい！と思うお店でした。

パクチー大好き♡石綿部

マダニの歩く速度

毎朝のお散歩で、ジュア君がまたマダニを拾ってきました。帰宅して足を洗うと、「あ～またついてる～、動いてる～」みたいな感じでしたが、30分も行かない、いつものお散歩コースで普通についてきます。マダニは多湿なところを好むようですが、雨上がりの日で、そういう時は蚊も多いし、生物は雨上がりは活動的になりますよね。
マダニは動いているし、潰すと病原体をまき散らすかもしれないので、ジプロックに入れて処分したのですが、ジプロック内でかなり早く歩いていました。そこでマダニの移動を検索してみると、歩く速度を観察している記事がありました。大体1秒1cm
計算するとおおよそ時速4キロくらい。これはヒトの歩くスピードと同じくらいです。
マダニはノミのように飛び跳ねて動物に接近するのではなく、葉っぱにくっついて待ち構えて、歩いて足などから這い上がって来るようです。その速さはヒトの歩く速度くらいは出るかもしれませんが、長時間歩くことはなさそうです。
横浜だとリスやハクビシン、アライグマなど（他県では鹿など）野生動物にもよくつきますので、けものみちがあるようなところはマダニが待ち構えているかも、って書いてありました。なるほど～ですね。基本的には犬猫は予防薬やブラッシング、ヒトはアウトドアでは長袖長ズボン、であまり心配はないはずなので焦る必要はありませんが、やっておくことはやっておきましょう。

実習生（学生さん）が来ます

7月に実習生の受け入れをします。台湾の獣医の学生さんヤDVMS動物医療学院の学生さんが来る予定になりました。あまり知らないスタッフがいましたら、実習生かもしれません。何か気になることがありましたら院長にお伝え下さい。よろしくお願いします。
私も学生の夏休みは野毛山動物園に実習に行ったり、食肉検査に実習に行ったり、動物病院に勤めると他はみれなくなるんじゃないかと思って、動物病院以外のところに行ったりしていました。阪神淡路の震災があった年には、動物救護のボランティアにも行きました。現地に行ったら他の獣医大学の学生さんもいて、横浜市獣医師会に所属する動物病院の先生方も交代で何人もボランティアに来られていて、とても驚きました。
夏休みなどは色々なことができるチャンスですね。色々なことがAIで終わり、にしがちになる時代となるかもしれないから、目の前の世界に身をもって臨んでいくことができる、っていうことは貴重なことになっていくかも？しれないですよね。

クマのニュースが多いですね

最近ネットフリックスでアニメのゴールデンカムイを見ています。ここにもヒグマがたくさん出てきます。始めから興味があったわけではないのですが、割と面白くなってきてちょこちょこ見ちゃっています。ストーリーはかなり長そうですが、クマや動物に関しても色んなメッセージがある気がします。チタタプ、チタタプって言いながらお肉料理をするシーンがあって、受付においてあるヒグマジャーキーはこれを体験できるレストランで売っているお肉なんです。クマのお肉は食べると元気でるらしいですよ。まだ食べたことはありませんけれど。ジャーキーにするとお肉は小さくなるのでたくさん作れないそうです。クマは走ると時速60キロくらい出るので、見える距離にいたら相当やばいって事です。

Instagram
HIBIKIAHST

フードの日　（日曜日）
事前注文：月～水　　購入：注文後の日曜日
１０％割引で買えます。LINEで注文お気軽にどうぞ

LINE

ヒートストレス　～暑くなるのは気温だけではありません～

ヒートストレスは、からだが生理的に耐えうる限界を超えた暑熱、高熱障害のことです。熱中症などがわかりやすいですが、体温が異常に上昇することでおかしくなっていくストレスのことです。
ヒトだと、多湿で35℃以上になると生理的に障害がでるそうです。特に仕事中のヒートストレス（暑熱）は、労働衛生上の危害に相当する、ともされています。

つい最近、このヒートストレスでよこはま動物園（ズーラシア）のマレーバクが死んでしまった、というニュースが報道されていました。少し気温が熱くはなって来たけれど、もう熱中症？という気もしたので、ニュースが気になりました。
これを読んだところ、近親交配を避け、新たな血統を導入する目的で、ズーラシアと名古屋東山動物園と台湾の動物園が共同で、マレーバクの移動が計画・実行されたようです。ズーラシアのホームページに詳細が記載されており、一部抜粋しますと、

- 横浜で検疫を済ませて成田空港から台湾へ飛行機で輸送された
- 成田空港の待機場所では22℃程度に設定された場所において、輸送動物の異常なしが確認されている
- 飛行機に搬入から着陸までおおよそ6時間程度
- 離陸時の飛行機内温度は26℃
- 着陸して動物園スタッフが輸送箱内で動物の異常と尿受け用ビニールに血痕を確認、急ぎ通関的手続きなどを経て動物園の検疫舎へ到着、死亡確認

という経緯のようです。そして死因について

- 動物園到着時の深部体温は41℃だった
- 翌日の解剖所見によると、頭部、四肢の爪、全身の外傷、皮下出血、肺水腫

ということからヒートエグゾースチョン（熱疲労・熱中症）により全身の循環障害や血液凝固障害（出血傾向など）、肺水腫がおこり死亡したと推定された、とあります。
ヒートエグゾースチョンとは、ヒートストレスの一つで、高温・高湿度の環境下だけでなく、何らかの要因で体温の放散が妨げられた時に起こる高熱障害、とあります。
個人的に想像するに、通常温度の飛行機内で、おそらくパニック状態になった動物があばれて、勢い余って体をあちこちぶつけている間に体温が急上昇してしまい、熱中症状態になってしまったのではないか、と思います。こういうのは犬猫でもあります。
動物園水族館協会のマレーバクのガイドラインには、比較的暑さには強い、とあります。マレーバクの体温調整機構はわからないのですが、ヒトのようにたくさん汗をかける構造がない場合、犬や猫でも上がった体温を下げるのは簡単ではありません。
外の気温が普通か、それ以下であっても、過呼吸状態になると体内にはどんどん熱がこもってしまいます。特に、飛行機のように状況確認が難しい場合、どうすることもできなくなります。これから夏場に移動する場合、車に慣れていない子が長時間乗ることになるような場合でも事前に対応を考えておきたいものです。犬の場合はマメに休憩をして、おしっこさせながらたくさん水分補給をしてください。猫や極端にストレスになってしまう子の場合は、早朝や夜間の涼しい時間を利用するなど、移動の仕方そのものを検討する必要があるかもしれません。なるべく最短時間で移動して、早く自由にしてあげる必要があるかもしれません。車内で離すのも、逃走の危険が高いので、難しいと考えます。予定ある方は診察時に相談してくださいね！
ヒトは精神的なストレスでも発熱する場合があるようです。気をつけましょう！

かわらばんやメールなど当院からのお知らせが不要な方は
こちらのQRコードスキャン画面よりお知らせください。
（HPトップページの下部からも解除画面に行けます）
ご連絡いただきましたら速やかに停止させていただきます。